

WAKAYAMA

TRUCK INFORMATION

トラック情報



公益社団法人 和歌山県トラック協会



CONTENTS

協会だより

2~7 年頭のご挨拶

8 会員だより

8 広報委員会が開催されました

8 2019年度各種助成金 申請状況

9 「東国原英夫」講演会の開催のお知らせ
～第38回「物流セミナー」～

9 和歌山県交通遺児を励ます会ボウリング大会に景品を寄贈

10 厚生労働省 労働基準局よりお知らせ

15~16 コレワークからのお知らせ

17 軽油価格調査集計表

18 協会日誌

21 近畿交通共済のページ

謹賀新年

新春を迎え、会員皆様方の

ご多幸と事業の益々のご繁栄を

お祈り申し上げます

令和二年 元旦

公益社団法人和歌山県トラック協会

専務理事	副会長	副会長	副会長	副会長	会長
和佐純宏	横山郁芳	上山正倫	榎本智信	小浦正臣	阪本享三



年頭のご挨拶



公益社団法人和歌山県トラック協会
会長 阪本 享三

明けましておめでとうございます。

令和2年（2020年）の新春を迎えるに当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は、皆様方には当協会の事業推進につきまして格別のご理解とご協力を賜り心より厚く御礼申し上げます。

昨年を顧みますと、中国の無人探査機が世界で初めて月の裏側に着陸、ベトナムのハノイでの米朝首脳会談で非核化をめぐる溝が埋まらず不都合に終わる、パリのノートルダム大聖堂の火災焼失、スリランカのコロンボで教会やホテルなどを狙った同時爆弾テロにより258人の死亡者の発生、アメリカがファーウェイの事実上の輸出禁止措置など米中貿易摩擦の激化、ホルムズ海峡での日本のタンカーへの砲撃、米大統領初の北朝鮮入り、日本が韓国に半導体素材の輸出規制措置の発動や韓国をホワイト国から除外し韓国も輸出優遇国から日本排除や日韓軍事情報包括保護協定破棄を表明したが韓国がぎりぎり条件付き継続を決定、香港で「逃亡犯条例」改正案に反対する大規模デモの発生、日本の排他的経済水域での北朝鮮漁船と日本の水産庁の取締船との衝突、香港で区議会選挙が行われ民主派が8割を超す圧勝など色々な出来事・事件等があり、米中貿易摩擦による日本経済への影響も大きかった年でありました。

国内では、熊本での震度6弱の地震の発生、厚生労働省が賃金や労働時間の動向を把握する「毎月勤労統計調査」の長年の偽装の発覚、各地での豚コレラの発生、北海道胆振地方中東部を震源とする震度6弱の地震の発生、近年の深刻な人手不足や深夜の客数減が響き流通・飲食・コンビニ業界での24時間営業の見直しを探る動きの広まり、大阪都構想案の是非を問う住民投票の実施時期をめぐって大阪維新の会と公明党の交渉が決裂し大阪府知事・大阪市長が辞職し統一地方選挙でのクロス選挙が実施され大阪維新の会の勝利、イチローの引退、年5日の年次有給休暇の確実な取得の義務付け、航空自衛隊三沢基地所属の新型戦闘機F35Aが青森県沖で墜落、東京池袋で87歳の男性が運転する乗用車が暴走して通行人ら10人が引かれ母子2人が死亡、神戸のJR三ノ宮駅前の横断歩道で神戸市営バスが暴走し2人が死亡・6人が重軽傷、大津市で車2台が衝突し1台が保育園児の列に突っ込み園児2人が死亡・14人が重軽傷、天皇陛下の譲位・元号が「平成」から「令和」へ、山形県沖を震源とする地震が発生し新潟県で震度6強を観測、国内で初となるG20が大阪で開催、商業捕鯨が31年ぶりに日本近海で再開、京都アニメーションで放火があり36人が死亡、かんぼ生命が不正な保険を販売、常磐自動車道で男性が煽り運転を受け車を停止させられ殴られた事件で犯人を逮捕、千葉市付近に上陸した台風15号が関東を縦断し大きな被害を与える、日産自動車の西川社長が業績悪化と株価に連動する報酬の不正受給により辞任、関西電力の会長・社長他20人が原発の地元有力者から3億2千万円の金品を受領していた問題が発覚し辞任、消費税が8%から10%に、リチウムイオン電池を開発した旭化成の吉野彰氏がノーベル化学賞を受賞、台風19号により東日本の21の河川が決壊し死亡・行方不明者が多数発生、ラグビーワールドカップで日本が8強入り、千葉・福島の大雨で死亡・行方不明者が多数発生、世界遺

産の首里城が火災で4,200平方メートル焼失、大阪地検で被疑者が2回逃走、ソフトバンクが投資に失敗して大赤字、運転中の携帯電話使用の厳罰化、ヤフーとLINE統合検討、内閣総理大臣主催の「桜を見る会」の招待基準等色々な問題が浮上、ローマ法皇の来日、神戸山口組の幹部が軍用自動小銃で射殺される、アフガニスタンで人道支援中の医師中村哲氏が射殺されるなどがあり、新しい元号に変わった喜ばしい年でありましたが、高齢者を中心とする車の暴走事故や台風などの自然災害による尊い人命が亡くなった年でもありました。

運輸業界におきましては、新標準引越運送約款の施行、横浜市の踏切で京急電鉄の電車とトラックが衝突しトラックドライバーが死亡・電車の乗客30人以上が負傷する事故の発生、平成30年12月に議員立法により改正された貨物自動車運送事業法の荷主関連部分が7月に施行され「規制の適正化」と「事業者が遵守すべき事項の明確化」が11月に施行、トラック運転者不足が深刻になっていることに対応し国民生活や産業活動に必要な物流を安定的に確保するとともに経済の成長に役立つことを目的とした「ホワイト物流」推進運動のスタートなどがありました。

和歌山県に於きましては、阪和自動車道と和歌山南スマートインターチェンジの開通、国内で民間初となるロケット発射場が串本町に建設されることが決定、和歌山県が特殊車両通行許可の迅速化への取り組みとして県管理道路の道路情報便覧への収録を2019年度に集中的に実施し余裕が出来た国代行分を市町村道に振り分けるよう国に働きかけると記者発表、南紀白浜空港の民営化、参議院議員選挙で世耕弘成経済産業大臣（当時）が得票率全国1位で当選、第4次安倍改造内閣が行われ二階幹事長が留任・門衆議院議員は国交省政務官に就任・世耕参議院議員は自民党参院幹事長に就任されるなどの出来事がありました。

トラック協会におきましては、当協会初となる物流出前講座を有田中央高校で開催、会員皆様の協力を得て「ねんりんピック紀の国わかやま2019」の花の苗やプランターの輸送協力の実施、海南市の要請により台風19号の被害を受けた福島県への飲料水の緊急物資輸送、トラック協会々長として天皇陛下御即位京都茶会に招待される、また10月20日の「トラックの日交通安全フェスティバル」におきましては、会員皆様他関係機関のご協力により、大勢の来場者を迎え開催出来ましたことを心より感謝申し上げます。

本年は、運転者としての就職を希望する求職者が就職先を選ぶ際や荷主等が取引先を選ぶ際に参考にできる自動車運送事業者の労働条件や労働環境の取組状況を「見える化」する認証制度の「ホワイト経営」の認定が始まる年であり、当協会としても労働時間短縮に向けて手待時間の削減等無駄な労働時間の削減やドライバーの賃金が少しでも上げられる適正な運賃・料金が収受出来るよう荷主企業との交渉の際に使用する資料となるパンフレットの作成や、会員皆様が困った際に専門家に相談出来る法律・会計等の相談窓口の開設に取り組み、昨年に引き続きドライバー不足が解消するよう各ブロックの協力による各地の高校での出前講座の実施や和歌山県・近畿運輸局等の行政機関並びに各団体等の協力を得て、トラックの日のイベント等を開催して「交通事故防止・環境保全・防災」で社会に貢献出来るよう考えておりますので、会員事業所のご協力をよろしくお願い申し上げます。

もとより微力な私ではありますが、これからも公益社団法人として、公益性のある事業により一層取り組み「産業と国民の生活を守る」トラック運送業界であるよう、また極めて厳しい折柄ではありますが会員皆様の事業所が繁栄するよう最善の努力を致す所存でございますので、会員の皆様をはじめ関係各位におかれましては、本年も変わらぬご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、一層のご多幸と事業のご繁栄を祈念して新年のご挨拶と致します。



近畿運輸局和歌山運輸支局長

杉本 昌弘

1. はじめに

新年、明けましておめでとうございます。

令和2年の年頭にあたり、謹んでご挨拶を申し上げます。

昨年は、何より天皇陛下の御即位により「令和」の新時代が始まった大きな節目の年でした。また、「G20大阪サミット」や日本中が大きく盛り上がった「ラグビーワールドカップ2019」という大きなイベントが成功裏に開催されました。和歌山においても、串本町での民間ロケット発射場「スペースポート紀伊」の建設や「ねんりんピック紀の国わかやま2019」など明るい話題がありました。

本年は、いよいよ東京オリンピック・パラリンピックの年です。世界中から多くの方々が我が国に来られる機会に、和歌山県にも是非より多くの方に足を運んで頂ければと考えてところです。

さて、和歌山県においては、少子高齢化・人口減少により地域公共交通の衰退や地域の活力低下が危惧されています。和歌山運輸支局が所管する陸運・海運事業、整備事業などの交通・運輸の業界においても若年層を中心に人材確保が難しくなっており、このままでは地域住民の生活や経済活動などを支える公共交通の確保維持はもとより、交通・運輸産業における次世代への技術継承や安全・安心の確保も危ぶまれる状況となります。

観光の分野に目を向けると我が国を訪れるインバウンドは引き続き堅調に推移しており、関西においても数多くの外国人旅行者の来訪・宿泊・回遊・消費で関西経済を牽引する状況は続いています。和歌山県を訪れる訪日外国人旅行者は、大阪や京都ほどではないものの着実な増加傾向にあります。少子高齢化・人口減少の状況下、世界遺産をはじめとして歴史・文化・自然など数多くの魅力的な観光資源を有する和歌山県では、地域公共交通の確保・維持・活性化や地域活力の増進のためにも、更なる観光資源の磨き上げや受入環境の整備と誘客を進め、国内外の観光客など来訪者を一層増加させていくことが不可欠です。

私どもといたしましても、まちづくりや観光など地域活性化の施策について関係者との連携を通じて、公共交通ネットワークの確保・維持、地域活力の増進を図り、次世代の人材確保にも繋げて参りたいと思います。

さらに、高齢化の進行等による交通弱者問題への対策として、住民の方々に日常生活の中で安全安心に利用してもらうことの出来る利便性の高い公共交通輸送の確立と自動車交通にかかる安全確保の施策についても、しっかりと取り組んで参ります。

2. 安心して利用できる安全な交通について

和歌山運輸支局におきましては、引き続き、運輸事業の安全・安心の確保のために、各モードの特性に応じ、最大限の努力をして参ります。

事業用自動車については、平成29年6月に策定した「事業用自動車総合安全プラン2020」の本年末の事故削減目標値である近畿での事業用自動車事故における死者26人以下、人身事故件数4,061件以下、飲酒運転をゼロの達成に向け、引き続き関係者と協力して取り組んで参ります。

海運については、走錨対策として、荒天時の運航管理者等からの適切なサポート（助言）や適切な当直体制の維持などについて、また、飲酒対策として、アルコール検知器を用いた検査体制の導入など、監査等の機会を捉え、事業者及び各船舶に対し指導して参ります。

また、危険物積載船には立入点検を実施し、安全設備の適正な維持・確認を行うとともに、外国船舶に対してはポートステートコントロールを的確に実施し、航行の安全確保と海洋汚染等の防止を図ります。さらに、プレジャーボート等の小型船舶を対象とする船舶検査受検及び救命胴衣着用の指導等の安全対策を行って参ります。

これら運輸事業の安全・安心の確保のためには、経営トップから現場まで事業者自らが社内一丸となった安全管理体制を構築し、積極的に取り組むことが不可欠です。和歌山運輸支局としても、安全思想の普及・強化に向けて運輸安全マネジメント制度の充実に積極的に取り組んで参ります。

3. 環境対策について

交通環境対策については、温室効果ガス排出量削減のために、天然ガストラック、電気自動車、燃料電池車など次世代自動車の普及促進、エコ通勤の普及促進、運輸事業者のグリーン経営の推進等、様々な分野で取り組みを進めてまいります。また、環境の負荷が少なく狭い路地も通行が可能で、高齢者の足の確保や観光客の周遊に資するグリーンスローモビリティの地域での活用に向けて支援して参ります。

このうち海運については、大きな動きがありました。船舶の排ガスによる人体や環境への悪影響を防止するため、海洋汚染防止条約の改正により、本年1月1日から、燃料油中の硫黄分濃度の規制値が従来の3.5%以下から0.5%以下へと世界的に規制が強化されました。和歌山運輸支局としても、当該規制強化に的確に対応するとともに、硫黄分の排出がなく温室効果ガスの排出も少ない液化天然ガス（LNG）燃料船の普及促進に取り組んで参ります。ま

た、海洋生態系の破壊や産業・漁業等への被害を防ぐため船舶の有害バラスト水の排出防止等の海洋等環境保護対策に努めて参ります。

4. 観光振興について

「観光」は、我が国の「地方創生の切り札」「成長戦略の柱」と位置づけられ、2016年策定の「明日の日本を支える観光ビジョン」において、2020年、2030年に向けた高い目標を掲げるとともに、「観光」を我が国の基幹産業へと成長させ、観光先進国の実現を図るため、政府一丸となった取り組みを進めています。

関西では、アジア諸国の経済発展に加え、ビザの緩和、LCC路線の拡大、情報発信をはじめとしたプロモーションなど官民一体で取り組んできた諸政策が実を結び、多くの外国人旅行者にお越しいただいており、昨年の我が国の訪日外国人旅行者数は、過去最高となった一昨年を超える見通しとなっています。政府が掲げた目標達成のためには、訪日外国人旅行者がストレスなく快適に行動し、満足度を落とさずリピーターとなって頂けるような、世界に誇る魅力あふれる国づくりが必要とされています。

和歌山県においては、交通事業者をはじめ地域関係者が参画する「熊野外国人観光客交通対策推進協議会」による熊野地域の受入環境整備・充実に向けた官民一体の取組が進められるとともに、南紀白浜空港の利便性向上や京都駅～高野山の直通高速バスの運行開始などアクセス性の向上が図られています。また、和歌山県の積極的なクルーズ客船の誘致活動の結果、本年も新宮港や和歌山下津港に18隻の寄港が予定される予定です。特に本年10月には県内寄港過去最大の「MSCベリッシマ」(総トン数:171,598^t、定員:5,686名)が和歌山下津港に初入港します。和歌山運輸支局ではクルーズ船寄港に際した二次交通の確保協力等とともに、引き続き「和歌山県クルーズ振興協議会」「新宮港クルーズ振興広域協議会」に参画し積極的な活動を進めて参ります。

さらに関西においては、2021年のワールドマスターズゲームズ、2025年国際博覧会と国際的な大型イベントが開催されます。特に来年5月に開催されるワールドマスターズゲームズでは和歌山県内でも和歌山市、海南市、田辺市、上富田町に競技会場が設けられます。これら国際的な大型イベントを契機として関西、そして和歌山に世界中から注目と人が集まることを期待しており、和歌山運輸支局としては、これらのイベントの成功を運輸行政の面から支えると共に、戦略的に活用し、インバウンドの拡大を通じた地域の発展に寄与して参りたいと考えています。

5. 地域公共交通の確保・維持等について

地域公共交通については、地域公共交通活性化再生法に基づく生活交通の維持・確保のための支援を行い、地域公共交通ネットワークの再構築を進めて参ります。また、生活交通の存続が危機に瀕している地域においては、バス路線等の生活交通の確保・維持に向けた取り組みを引き続き支援して参ります。

加えて、複数の交通手段の経路検索、予約、決済などをワンストップで行えるようにすることで、様々な移動を一つのサービスとして捉えるMaaS(モビリティ・アズ・ア・サービス)についての取組支援などを進めて参ります。

なお、近畿運輸局独自の取り組みとして、平成28年度より地方自治体と連携して地域の公共交通に関する課題解決に取り組む「地域連携サポートプラン」を実施してきております。これまでに協定締結し提案書を交付した自治体に対して、課題解決に向けたフォローアップに取り組むとともに新たな地方自治体との連携を進めて参ります。

6. 交通運輸サービスの発展・利便性向上について

乗合バスについては、本年春のJR和歌山線など和歌山県内JR各線の交通系ICカードのICOCAエリア拡大と同時に和歌山市、橋本市、高野町などの南海電鉄やJR和歌山線沿線のバス路線で交通系ICカードが利用可能となる予定です。住民のバス利用利便の向上とともに観光来訪者の利用促進を図ることで生活路線の維持確保に繋げて参ります。

貸切バスについては、過去に発生した事故及び近年、訪日外国人旅行者数の急増する中、事業の安全を適切に確保するため、平成29年4月に設置した「(一財)近畿貸切バス適正化センター」と連携し、法令違反の疑いのある事業者等に対する監査を実施するとともに、観光地等においても積極的に街頭監査を行うなど、引き続き、貸切バスの安全・安心の確保に努めて参ります。

タクシーについては、昨年8月30日以降、継続審査としておりました運賃改定申請の審査を終え、昨年12月13日に新運賃を公示いたしました。これにより、本年2月1日より新運賃の実施が行えることとなりました。引き続き、地域と連携した住民の足の確保や、需要の掘り起こしによる活性化などの取り組みを支援して参ります。

物流分野では、少子高齢化・人口減少の進行に伴い労働者不足が深刻化する一方、貨物の小口・多頻度化や電子商取引の普及・拡大など、従来の物流システムでは、安定的な物流の確保・維持が困難になってきています。

このため、平成29年7月に新たな「総合物流施策大綱(2017年度～2020年度)」が閣議決定され、これからの物流に対する新しいニーズに応え、我が国の経済成長と国民生活を持続的に支える「強い物流」を実現していくため、各種取り組みを推進しているところです。

また、自動車運送事業(トラック・バス・タクシー)にあっては、長時間労働を是正するための環境整備やインセンティブ・抑止力の強化を図るため、「自動車運送事業の働き方改革の実現に向けた政府行動計画」に基づく施策に取り組むこととしています。

特にトラックについては、荷待ち時間の削減、宅配便の再配達削減等により、生産性の向上に取り組むとともに荷主警告制度の適切な運用、標準的な運賃告示制度の導入等により、取引環境の適正化を推進しているところです。引き続き、荷主団体等への「ホワイト物流推進運動」への参加要請を行うとともに、労働局・トラック協会・荷主団体等と共同で取り組んでいる「トラック輸送における取引環境・労働時間改善地方協議会」において、長時間労働の抑

制、生産性向上のための議論を進めています。

さらに、平成28年に施行された「改正物流総合効率化法」（物効法）に基づき、モーダルシフトや貨客混載事業の推進、トラック予約受付システムの導入など物流の効率化に向けた事業者の取り組みを支援しています。

和歌山運輸支局としては、これらの活動を通じ、物流の生産性向上に、鋭意取り組んで参ります。

加えて、人材不足問題は現下の喫緊の課題であり、バス・タクシー・トラックドライバー、自動車整備士、船員や造船技能者の人材確保や女性の活躍推進については、各事業者団体や地方自治体と協力しながら、学校訪問、イベント開催時の職業体験等の活動について、できる限りの協力をして参ります。

これらのほか、自動車検査・登録については、ユーザー利便性向上の観点から実施している自動車保有関係手続のワンストップサービス（OSS）申請は、一昨年2月から開始された新車新規登録については、申請が着々と増えてきており、少しずつ利用率は上がってきている状況です。平成29年4月から開始されています継続検査のOSS申請については、低迷していた支局管内の利用率が、昨年から大きく向上しています。引き続き関係機関と連携協力して利用率向上のためOSS申請の利用促進に努めて参ります。

自動車の安全確保等については、独立行政法人自動車技術総合機構と連携して、適切かつ確実な検査を実施するとともに、街頭検査を実施し不正改造車の排除を行い、また、定期点検整備の確実な実施に向けた対応として、自動車検査証に点検整備の実施状況を記載し指導等に活用するなど、引き続き自動車ユーザーにおける適切な保守管理の実施を推進して参ります。

また、近年の自動車の電子化・高度化、自動運転技術開発が進められており、自動運転等の自動車の安全性を確保するため、昨年5月に道路運送車両法が改正され、保安基準対象装置として新たに「自動運行装置」が追加され、自動車の分解整備の範囲を自動運行装置等までに拡大し、名称を「特定整備」と改めるとともに、継続検査OSSの更なる利用推進及び車検申請者等の利便性向上のため、自動車検査証のICカード化などが決定されました。今後、特定整備等の新制度への移行を円滑に行えるよう関係機関の皆様方と連携協力して進めて参ります。

自動車整備士の人材不足につきましては、昨年4月1日より改正入国管理法が施行され、新たな外国人材の受入れ制度「特定技能制度」が開始され、自動車整備分野も受入れ可能な分野となっています。自動車整備士の人材確保・育成については、近い将来、整備業界を支える人材が不足し、クルマ社会の安全・安心を支える基盤が脅かされる恐れがあるため、平成26年度より実施しています高校訪問を引き続き実施するとともに、即戦力となる特定技能制度の活用等、関係機関と連携協力して対応して参ります。

フェリー・内航海運については、物流の効率化に寄与するモーダルシフトの主要な担い手であるとともに、災害時の緊急輸送手段としても活用がなされたところです。和歌山運輸支局管内においても昨年末に和歌山～徳島航路に新船が就航しました。新船の就航は、和歌山県の物流・観光の振興への寄与が期待されるものであり、和歌山運輸支局としても引き続き航路の維持・活性化に取り組んで参ります。

内航海運においては、当支局管内のそのほとんどが小規模事業者であるため、内航未来創造プランに揚げられた、内航海運事業者の経営基盤の強化、先進的な船舶等の開発・普及、船員の確保・育成等これら各施策の実現を着実に進めて参ります。

その一環として和歌山運輸支局と海事関係団体等との共催による、和歌山市内の小学生と保護者を対象にした「海の教室」を開催し、将来の職業選択の一つとなるべく次世代を担う小学生に海や船に関する仕事についての理解を深めて頂く取組を実施しています。また、昨年は来年度から小中高にて順次開始される海洋教育の適切かつ効果的な実施に向けた国土交通省の「海洋教育推進事業」の地方試行授業を和歌山市立の小学校で実施しました。

港湾運送関係では、一昨年9月の台風21号によりガントリークレーンが破損したことによりコンテナ荷役の一時的な機能低下が生じましたが、新たなクレーンの設置によりその機能を回復したところです。現クレーンのレンタル期間後の後継クレーンの目処も立ち、今後も安定したコンテナ荷役が行われるものと考えます。

バリアフリー対策については、「移動等円滑化の促進に関する基本方針」により来年度末を期限とした整備目標の達成に向け、高齢者や障がい者等が利用しやすい施設や車両等の整備を促進しているところです。

また、近畿運輸局職員においては、昨年に自発的な交通バリアフリー行動を率先して行う「お手伝いしましょうか」運動を開始しました。バリアフリーについては、ハード整備だけでなく周囲の方々の自発的なサポート活動に繋がる「心のバリアフリー」への理解が重要であり、引き続き普及に向けた取組を推進して参ります。

7. 防災・危機管理対応について

防災・危機管理対応については、一昨年の災害を教訓に、体制の見直しを図って参りました中で、近い将来発生することが予測されている南海トラフ地震等大規模災害発生時の対応として、迅速かつ適切に対応することが最大の課題です。近畿運輸局、和歌山運輸支局としては、関係自治体、交通事業者、関係機関と連携を取りながら、防災危機管理体制の更なる強化・向上を図って参ります。

また、テロ、新型インフルエンザの発生等緊急事態に対し適切に対応できるよう、警察、交通事業者、関係機関等との連携を図り、初動体制の整備や未然防止等の対策を行って参ります。

8. おわりに

以上、新年を迎え所信を申し述べましたが、交通・観光行政を通じて、地域の発展に繋がるような取り組みや豊かで快適な生活の実現に貢献して参りたいと考えています。

今後も当局の行政に対し、皆様方の一層のご支援、ご協力をいただくよう心からお願い申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。



和歌山県知事

仁坂吉伸

あけましておめでとうございます。

公益社団法人和歌山県トラック協会の皆さんには清々しい新春をお迎えのこととお慶びを申し上げます。

昨年は、新天皇陛下が御即位になり、時代も「平成」から「令和」へと移り変わる節目の年となりました。

和歌山県では、紀伊半島一周高速道路の全区間事業化や小型ロケット射場の誘致が実現し、さらに、ねりんピック紀の国わかやま2019、和歌山県人会世界大会が皆さんのおもてなしで大成功を収めることができました。「紀伊山地の霊場と参詣道」も世界遺産登録15周年を迎え、国内外に本県の魅力をPRできた素晴らしい一年でした。さらに、高校生の県外進学率は42年ぶりにワースト1位を返上することができました。総じて、令和元年は、新しい時代が始まる予兆を感じる年となったと思います。

さて、トラック輸送は、国内貨物輸送量の9割以上を占める、日本の経済と国民生活を物流面で支える重要な産業です。貴協会が、物流活性化により県経済の発展に大いに貢献されるとともに、大規模災害に備えた県内全市町村との緊急物資輸送に係る協定締結など災害対策においても多大なる御尽力をいただいていることにお礼申し上げます。

令和2年は、IR（統合型リゾート）、白浜などを中心としたICT企業の誘致、ロケット射場による宇宙産業の集積などで新しい和歌山を創っていく「嚆矢の年」としていききたいと思います。

また、本県の喫緊の課題である人口減少対策、産業の振興、防災対策などにも果敢に挑戦してまいりたいと思います。

具体的には、保育料無償化や在宅育児世帯への支援を行う紀州っ子いっぱいサポート事業等の「子供を安心して育てる環境の充実」、高校生や大学生の県内就職の支援、スマート農業の推進などの「働き手の確保」、IRの推進やロケット等による「新産業の創出・先端技術導入」、防災・減災対策の強化や、ごみポイ捨ての禁止強化など「県民生活の充実」、個性豊かで暮らしやすい地域づくりや道路ネットワークの整備など「地域の魅力を高める」ことなどに取り組んでまいります。

このように、県では、県勢発展のための時宜にかなったきめ細やかな政策を進めてまいります。

そして、「令和」の新時代が「和歌山の時代」となるよう、全身全霊をかけて県政を推進してまいりますので、皆さんも一緒に郷土和歌山を盛り上げていきましょう！

今年は、東京オリンピック・パラリンピックが我が国で開催される記念すべき年です。和歌山にとっても県勢浮上の年となりますとともに、貴協会の皆さんにとって良い年となりますよう心からお祈りを申し上げ、年頭のごあいさついたします。

会員だより

◎変更届

届出年月	変更事項	新	旧
令和元年12月	指定代表者	(有) 葵運輸倉庫 坂 田 和 久	(有) 葵運輸倉庫 山 田 勝 人
令和元年12月	住 所	(有) 河村運送 岩出市波分207番地6	(有) 河村運送 和歌山市雄松町4丁目6

広報委員会が開催されました

開催日時 令和元年12月16日(月) 13時30分～

開催場所 和歌山県トラック会館 2階会議室

出席者 8名

仮谷 依子、坂本 敦弘、虎谷 勝之、井上 巳喜、
渡邊 孝富、綾江 憲二、弓庭 幸洋、杉本 和隆
【オブザーバー】横山 郁芳、和佐 純宏、テレビ和歌山2名
【事務局】上西 克紀、市坪 幸男、高田 敦久



議 題

- (1) 就職用DVD第2弾について
- (2) その他について

去る12月16日和歌山県トラック会館2階会議室において広報委員会が開催され、冒頭に委員長より挨拶があり、上記の議題について検討を行った。

- (1) 就職用DVD第2弾について

○テレビ和歌山より資料に基づき、説明を行ったことについて今後について検討を行い問題がないことを確認した。また、タイムスケジュールについての確認を行い、完成に至るまでの行程を検討した。

- (2) その他について

○来年度事業について意見があり、年明けより来年度行う事業について検討重ねることとなった。

2019年度各種助成金 申請状況

2019年12月20日現在

2019年度 助成金	予算額(千円)			申請額 (千円)	実行率 (%)	申請締切日
	全ト協	和ト協	合計			
ドライバー等安全教育訓練促進助成金	1,740		1,740	1,461	84	2020年3月31日
睡眠時無呼吸症候群(SAS)スクリーニング検査助成金	560		560	305	54.5	2019年12月28日(実績報告は2020年2月28日)
環境対応車導入助成金	※1	500	500	192	38.4	2020年1月31日(車両登録は2020年3月13日)
蓄熱マット等購入助成金		500	500	81	16.2	2020年1月31日
安全装置等助成金	2,120	1,600	3,720	1,660	44.7	2020年2月28日
ドラレコ機器等導入促進助成金		3,600	3,600	740	20.6	
衝突被害軽減ブレーキ	4,200		4,200	970	23.1	
アイドリングストップ支援機器導入助成金	520		520	150	28.9	
血圧計導入促進助成金	1,390		1,390	192	13.9	
グリーン経営認証助成金		200	200	80	40	
上位運転免許(大型・中型・けん引)・準中型取得助成金	※2	2,000	2,000	1,800	90	
定期健康診断助成金		8,000	8,000	2,742	34.3	
信用保証料助成金	※3	1,000	1,000	27	2.7	

※1 全国で180,000千円

※2 全ト協 準中型免許のみ助成 全国で100,000千円

※3 全国で50,000千円

2019年12月20日現在の各種助成金の申請状況です。

○助成金申請書・要綱等は和ト協ホームページよりダウンロードできますのでご利用いただくか和歌山県トラック協会・交付金課宛ご連絡下さい。

○蓄熱マット助成金申請については、指定取扱機関であります和歌山県貨物運送事業協同組合連合会(TEL073-422-2822)に申請して下さい。

○但し、予算に達した時点で終了となりますのでご了承下さい。

「東国原英夫」講演会の開催のお知らせ ～第38回「物流セミナー」～

2019年度物流対策事業の一環として「東国原英夫」講演会～第38回物流セミナー～を下記により開催致しますので、会員事業所が取引されている荷主様のご出席方をのお願いを申し上げますと共に、貴社（店）に於かれましても是非ご出席賜りますようご案内いたします。

また、ご出席いただける場合は、お手数ですが、令和元年12月10日付 和ト協第132号でご案内しております申込書にてFAXまたは郵送でお申込み下さい。

記

1. 日 時 2020年2月11日（火・祝） 午後3時開会
2. 場 所 「ホテルグランヴィア和歌山」6階
和歌山市友田町5-18
3. 主 催 （公社）全日本トラック協会
（公社）和歌山県トラック協会
4. 講 演
テーマ 「ピンチをチャンスに!」
講 師 東国原英夫 氏



和歌山県交通遺児を励ます会ボウリング大会に景品を寄贈

2019年度交通事故防止等啓発事業の一環と致しまして、公益財団法人交通遺児を励ます会ボウリング大会に景品の寄贈を行いました。

贈呈につきましては、去る2019年12月1日（日）、公益財団法人交通遺児を励ます会主催、独立行政法人自動車事故対策機構和歌山支所共催によるボウリング大会が交通遺児家族を対象に交通安全を呼びかけることを目的に、和歌山市の「和歌山グランドボウル」に於いて開催され、当協会と致しましても、交通遺児家族の少しでもの一助となりますよう、和歌山県交通遺児を励ます会北浦理事長に景品を贈呈させて頂きました。

当日は、8家族19名が参加され当選した景品を喜んで頂きました。

また、後日2019年12月17日和歌山県交通遺児を励ます会北浦理事長が協会を来訪し、阪本会長に感謝状授与式が行われました。



厚生労働省 労働基準局よりお知らせ

事業主の皆さまへ

労働基準監督署への報告書類（安全衛生関係）は、インターネット上で作成できるようになりました

厚生労働省は「労働安全衛生法関係の届出・申請等帳票印刷に係る入力支援サービス」を開始しました。

このサービスでは、以下4つの「労働安全衛生関係の届出・申請等」について、労働基準監督署へ提出する書面（※1）を作成する際に、**誤入力・書類の添付忘れを防ぎ**、過去の保存データ（※2）を用いて**共通部分の入力を簡素化**します。事前申請や登録は不要ですので、ぜひご利用ください。



Webブラウザ要件

- ・ Internet Explorer
- ・ Microsoft Edge
- ・ Google Chrome

OS要件

- ・ Windows10
- ・ Windows8.1

対応している届け出・申請

- 労働者死傷病報告（休業4日以上）
- 定期健康診断結果報告書
- 心理的な負担の程度を把握するための検査結果等報告書（ストレスチェック）
- 総括安全衛生管理者・安全管理者・衛生管理者・産業医選任報告

※1：このサービスは、申請や届け出をオンライン化するものではありません。

作成した帳票は、**必ず印刷し、所轄の労働基準監督署へのご提出をお願いします。**

※2：このサービスで入力された情報は、インターネット上には保存されません。

次回以降に活用される場合は、ご自身のパソコンに保存ください。

□ 入力支援サービスへのアクセス方法はこちら □

- ・ 検索窓口から **安全衛生 入力支援** と入力
- ・ <https://www.chohyo-shien.mhlw.go.jp/> を直接入力



<お問い合わせ先>

操作に関すること：労働基準局労災保険業務課 **03-3920-3311（内線329）**

帳票の取扱いに関すること：労働基準局安全衛生部 **03-5253-1111（内線5482、5498）**



厚生労働省労働基準局

令和2年 2月2日(日) *42.195km*

第25回 紀州口熊野

田辺・西牟婁周辺のみなさまへ

平素は、紀州口熊野マラソンの開催にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。深く、感謝申し上げます。

さて、当マラソンも25回目を迎え、総数6,000名の参加者を予定しており、健康の保持増進だけでなく、紀南地方の冬の観光スポーツイベントとしても確立されてきました。

また、2月1日(土)に2kmと3km、2月2日(日)にフルとハーフを実施することになっております。コース周辺の方々には2日間にわたり交通規制等で大変ご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

また、ご自宅近くをランナーが走行される場合、ご声援を頂ければ幸いです。

令和2年1月

紀州口熊野マラソン実行委員会

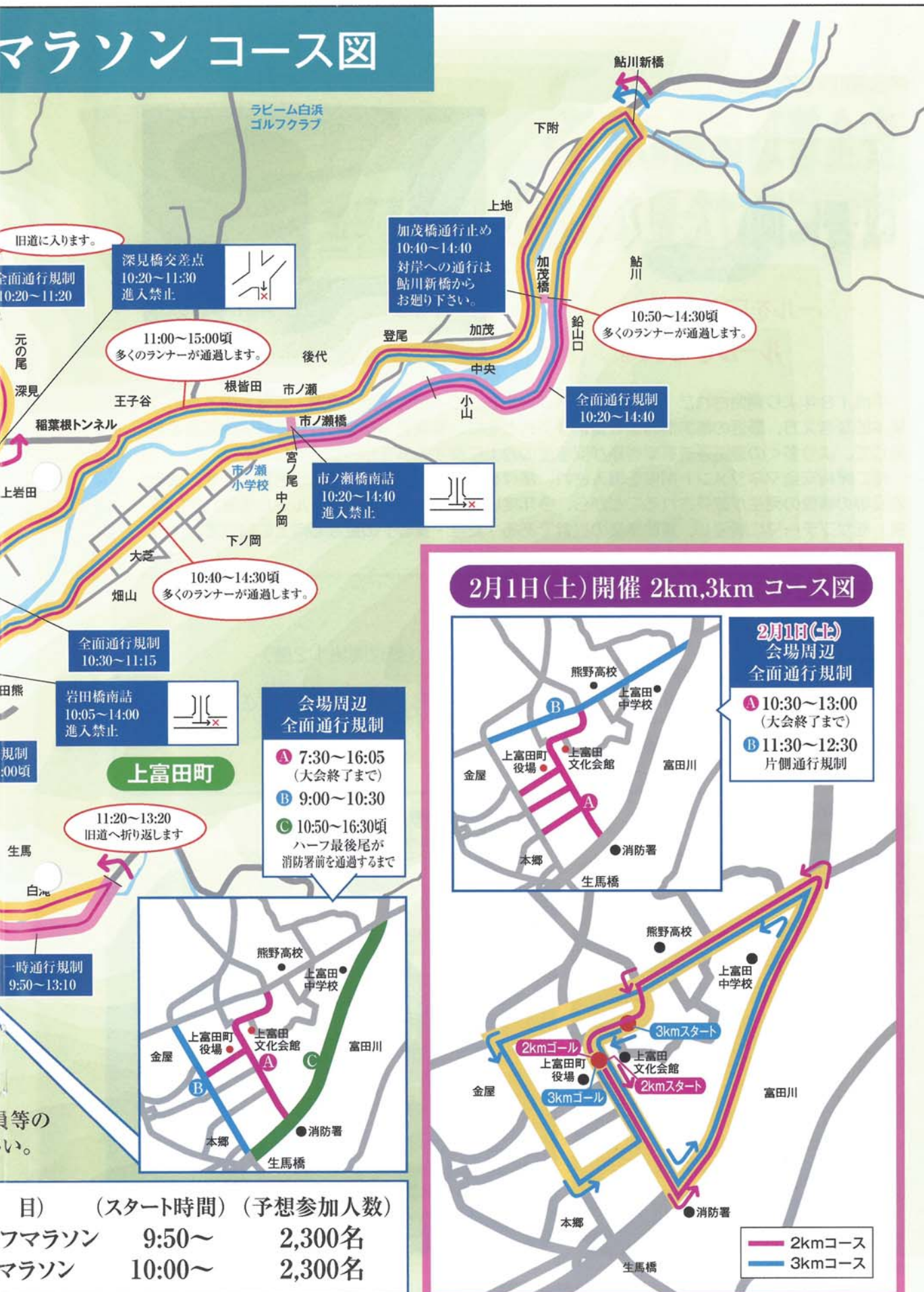
実行委員長 上羽 寛

大会長

上富田町長 奥田 誠



マラソンコース図



シンポジウム 2020 安全管理体制の構築・ 改善に向けた更なる取組

～ルールを守る背景、
ルールを守れない背景～



平成18年より開始された「運輸安全マネジメント」の一層の普及・浸透・定着を図るため、基本的な考え方、最近の情勢情報等を提供するとともに、事業者の安全に対する好事例発表等を通じて、より多くの道路運送事業者様が安全度の向上に資する事を目的に開催します。

特に運輸安全マネジメント制度を導入され、様々な取組みを実施しているにも関わらず、法令違反等の事象の発生が散見されることから、今年度は「ルールを守る背景、ルールを守れない背景」をサブテーマに開催し、運輸事業の根幹である「安全・安心」の更なる向上に向けて、より一層促進するために行うべき方策を考えてみたいと思います。

- ◆日 時：令和 2年2月13日(木)
13時00分～16時00分(受付開始12時)
- ◆会 場：中央電気倶楽部 5F大ホール
大阪市北区堂島浜2丁目1番25号(裏面をご覧ください)
TEL 06-6345-6351
- ◆参加費：無 料 ◆定 員： 200名

プログラム第1部

★基調講演

「自動車運送事業の安全管理に
見られる傾向について」

木下典男氏

国土交通省 大臣官房運輸安全監理官室

次席運輸安全調査官

プログラム第2部

■事業者発表

「運輸安全マネジメント制度の現場へ向けた
理解・浸透の取組」

一 発表事業者 一

阪神バス 株式会社

代表取締役社長 福浦 秀哉氏
経営企画部課長 重永 広大氏

神姫ゾーンバス 株式会社

代表取締役社長 滝口 亮氏
支配人 山本 修太氏

一 アドバイザー 一

木下典男氏

国土交通省 大臣官房 運輸安全監理官室
次席運輸安全調査官

共催：国土交通省 近畿運輸局
公益財団法人関西交通経済研究センター 運輸安全マネジメント支援センター
後援：近畿バス団体協議会、一般財団法人 近畿陸運協会

シンポジウム 2020



会場へのアクセス

- ★JR 大阪駅から徒歩 12 分
北新地駅から徒歩約 7 分
- ★地下鉄四つ橋線西梅田駅から徒歩約 6 分
(堂島地下街南詰 C-93 番出口)
- ★京阪中之島線：渡辺橋駅から徒歩約 5 分

参加申込方法

- ① 下記の参加申込書に必要事項をご記入のうえ、公益財団法人 関西交通経済研究センターあて FAX又はEメールでお申し込み下さい。
- ② 申し込み締め切り日は、令和 2年 2月 4日 (火) です。
(定員に達した場合は締め切らせていただきます。)
- ③ 当日は、参加申し込み確認のため、受付にて参加申込書または名刺をご提出下さい。
なお、参加申込者に代わる代理の方のご出席は差し支えありません。(名刺等をご用意下さい。)

お申し込みFAX番号：06-6543-6295

E-mail：a-tsd@kankouken.org

参加申込書

御社名 (団体名)	TEL () -	
	FAX () -	
	E-mail :	
ご住所	(〒 -)	
お名前	所属	
	所属	
	所属	
	所属	

お問い合わせ・お申し込み先]

(公財) 関西交通経済研究センター
運輸安全マネジメント支援センター
TEL: 06-6543-6291 / FAX: 06-6543-6295

[個人情報の取扱について]

参加申込書にご記入頂きました個人情報は厳正に管理し、本シンポジウムに関する確認・連絡の通知の際に使用させていただきます。他の目的での利用や第三者へ提供することは一切ございません。

コレワークからのお知らせ



人手が足りなくて困っている！けど、**刑務所**や**少年院**に入った人を雇った経験なんて無いしな...

誰か**相談**に乗ってくれないかな。そもそも**どうすれば雇用**できるのかな。

それらの疑問について、**コレワークの職員等**が**セミナー**で詳しくお答えいたします！

社会復帰のステップを、雇用という形で支えていただけませんか？



刑務所 出所者等

少年院も

雇用セミナー

参加無料

要予約

主催：OSAKAしごとフィールド・コレワーク西日本

対象 受刑者等の雇用に興味のある事業所の方

日時 令和 2年 2月 26日 **水** 13:30～16:00【開場 13:00】

場所 エル・おおさか 本館 11階 セミナールーム

所在地 大阪府中央区北浜東3-14

定員
20名

内容 コレワークの就労支援の説明（コレワーク西日本）
協力雇用主など、支援制度の紹介（大阪保護観察所）
雇用後の相談など地域援助の説明（大阪少年鑑別所）
出所者雇用の事例紹介（雇用支援アドバイザー※）

※雇用支援アドバイザー：刑務所出所者等の雇用経験が豊富な事業主。

参加予約
お申し込み

OSAKAしごとフィールド
中小企業人材支援センター

〒540-0031 大阪府中央区北浜東3-14
エルおおさか 本館 3F

<http://business.shigotofield.jp>

営業時間 月～金曜 9:30～18:30（17:30受付終了）

定休日… 土・日・祝・年末年始

お
申
込
み
方
法

お電話で TEL 06-6910-3765

FAXで FAX 06-6232-8581
裏面の申込票をご利用ください

Webで <http://business.shigotofield.jp/seminar/>
Webでのお申込みは1月中旬開始予定です。

※ご参加にあたり、手話通訳が必要な場合は、事前にお申し出ください。



受刑者等の就労支援を専門的に実施するために、法務省に設置されました。事業主のみなさまの雇用ニーズに合った者を収容する刑務所や少年院の情報を提供しています。コレワークが提供しているサービス内容について、詳しくはQRコードから➡



 OSAKAしごとフィールド 企業セミナー申込票 (FAX ... 06-6232-8581)	
セミナー 名 称	刑務所出所者等雇用セミナー (2月26日13:30~) エル・おおさか 本館 11階 セミナールーム
企 業 名	
所 在 地	府 県 市 郡
フリカゝナ	
ご参加者 氏 名	
電話番号	
Emailアドレス	

申込期限：2/18 (火)

※定員を超えた場合には、お断りのお電話をさせていただくことがあります。

アクセス

【大阪市中央区北浜東3-14】

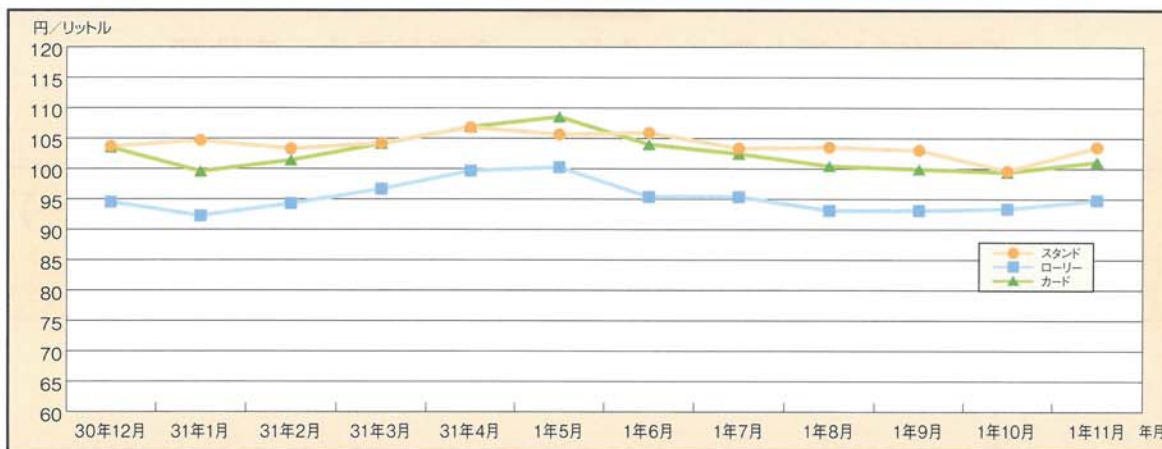
- ・京阪電鉄／Osaka Metro谷町線
天満橋駅 2番出口より西へ300m
- ・京阪電鉄／Osaka Metro堺筋線
北浜駅 3番出口より東へ500m



軽油価格調査集計表

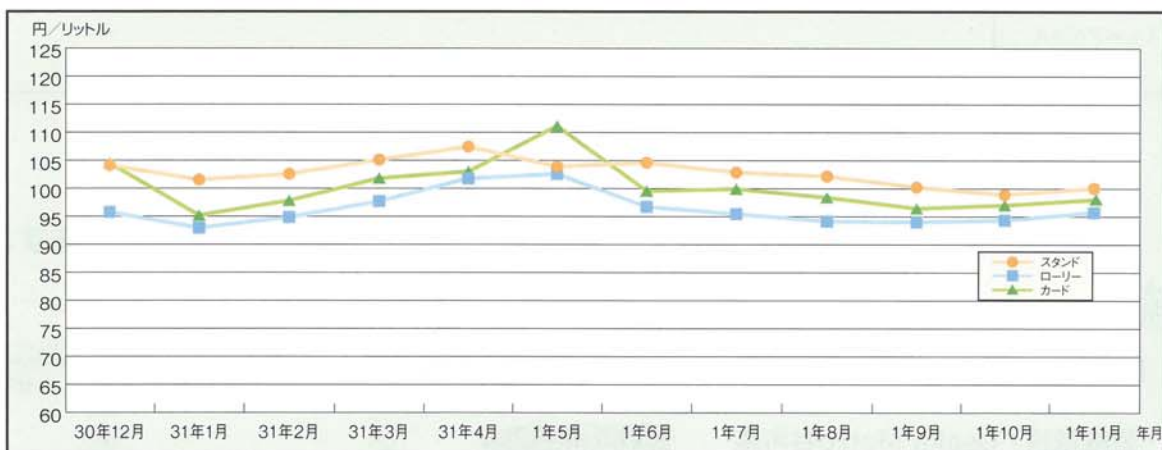
令和元年12月25日現在
(公社) 全日本トラック協会

軽油価格推移グラフ (近畿)



	スタンド	前月比	ローリー	前月比	カード	前月比
2018年 12月	103.70	-9.27	94.50	-8.15	103.49	-7.36
2019年 1月	104.68	0.98	92.25	-2.25	99.55	-3.94
2019年 2月	103.30	-1.38	94.27	2.02	101.38	1.83
2019年 3月	104.20	0.90	96.66	2.39	104.12	2.74
2019年 4月	106.81	2.61	99.63	2.97	106.88	2.76
2019年 5月	105.66	-1.15	100.23	0.60	108.52	1.64
2019年 6月	105.92	0.26	95.36	-4.87	104.00	-4.52
2019年 7月	103.35	-2.57	95.36	0	102.44	-1.56
2019年 8月	103.53	0.18	93.10	-2.26	100.44	-2.00
2019年 9月	103.05	-0.48	93.11	0.01	99.92	-0.52
2019年 10月	99.62	-3.43	93.36	0.25	99.41	-0.51
2019年 11月	103.54	3.92	94.79	1.43	101.10	1.69

軽油価格推移グラフ (和歌山)



	スタンド	前月比	ローリー	前月比	カード	前月比
2018年 12月	104.09	-9.41	95.70	-8.03	104.46	-3.24
2019年 1月	101.50	-2.59	92.89	-2.81	95.13	-9.33
2019年 2月	102.55	1.05	94.79	1.90	97.77	2.64
2019年 3月	105.10	2.55	97.65	2.86	101.77	4.00
2019年 4月	107.44	2.34	101.72	4.07	102.97	1.20
2019年 5月	103.90	-3.54	102.52	0.80	111.11	8.14
2019年 6月	104.60	0.70	96.69	-5.83	99.53	-11.58
2019年 7月	102.85	-1.75	95.41	-1.28	99.87	0.34
2019年 8月	102.16	-0.69	94.10	-1.31	98.37	-1.50
2019年 9月	100.23	-1.93	93.99	-0.11	96.43	-1.94
2019年 10月	98.91	-1.32	94.31	0.32	97.00	0.57
2019年 11月	100.05	1.14	95.70	1.39	98.00	1.00

協会日誌

開催日	行 事	開催地
2019年 12月	3日 整備管理者定期研修	紀の川市
	// 和歌山県中小企業団体中央会・令和元年度組合交流会	白浜町
	5日 全ト協・理事会	東京都
	8日 令和元年度紀の川市防災総合訓練	紀の川市
	9日 特殊車両通行許可制度説明会	和歌山市
	13日 正副会長会議	//
	16日 広報委員会	//
	17日 近畿地区物流政策懇談会	大阪市
	24日 適正化指導員連絡会議	和歌山市
	25日 輸送秩序確立対策委員会	//

開催日	行 事 予 定	開催地
2020年 1月	9～	
	10日 全国専務理事業務連絡会議	神戸市
	9日 整備管理者定期研修	田辺市
	10日 //	//
	15日 正副会長会議・予算委員会・交付金運営委員会合同会議	和歌山市
	// 総務委員会	//
	17日 整備管理者定期研修	新宮市
	20日 東南海・南海地震等の想定地域における民間施設・ノウハウを活用した災害に強い物流システム構築に関する協議会	大阪市
	21日 全ト協・新年賀詞交歓会	東京都
	// 広報委員会	和歌山市
	22日 人材確保セミナー	//
	23日 令和元年度試験事務担当者研修会	東京都
	// 田辺労働基準監督署・労働時間説明会	田辺市
	24日 理事会	白浜町
	26日 紀南ブロック・親睦ゴルフコンペ	上富田町
	27日 和歌山労働基準監督署・労働時間説明会	和歌山市
	30日 近ト協・幹事会	箕面市

#止めるぞ_風しん

対象: 1962(昭和37)年4月2日～1979(昭和54)年4月1日生まれの男性の皆様

・無料抗体検査クーポンが届きましたら、健康診断の機会などで、**抗体検査**をお願いします



あなたが
風しんに



あなたが
苦しい
だけでなく



風しん
拡散



妊婦さん
感染

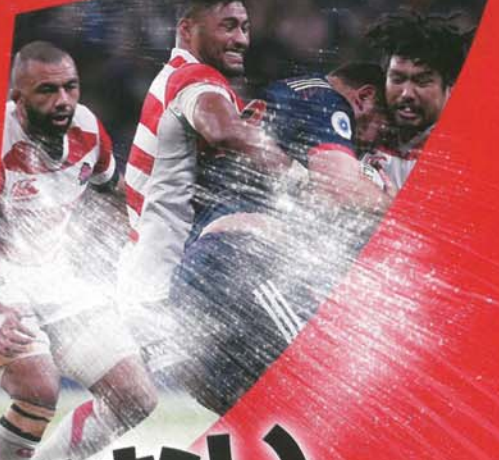


赤ちゃんが
障がいをもって
生まれる可能性が
あります

One for all,

ひとはみんなのために、
みんなはひとりのために

all for one



トライなんてさせない
タックルで止める

感染なんてさせない
ワクチンで止める

ラグビー日本代表 ©JRFU



厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

風しん 厚生労働省



1962(昭和37)年4月2日～1979(昭和54)年4月1日生まれの男性の皆様



あなたが風しんの感染を拡大させてしまう 可能性があります



お手元に届くクーポン券※により、健康診断の機会や
お近くの医療機関で抗体検査を受けましょう。



風しんへの抵抗力が無いこと(抗体なし)がわかった場合、
予防接種を受けましょう。

対象者は風しんの抗体検査及び予防接種が原則無料※となります。

2019年度は、1972(昭和47)年4月2日～1979(昭和54)年4月1日生まれの男性に市区町村がクーポン券を送付します。
なお、2019年度にクーポン券が送付されない・届いていない対象者も市区町村に希望すればクーポン券を発行し、抗体検査を受けられます。※
子どもの頃に風しんに感染したかどうか記憶が曖昧な場合も抗体検査を受けましょう。

Q:なぜ風しんへの 抵抗力が必要なのか?

A・成人は小児に比べて
症状が重くなることが
あります。



Q:風しんに感染すると 何が問題なのか?

A・電車や職場など人が集まる場所で、
多くの人に感染させる可能性があります。
・妊娠早期の妊婦に風しんを感染させると、
赤ちゃんが先天性風しん症候群になる可能性があります。



抗体検査

職場での健康診断や近隣の
病院・診療所で受けられます。※
クーポン券を使えば抗体検査は無料となります。

抗体あり

・風しんへの抵抗力があります。

抗体なし

・風しんへの抵抗力がありません。
・風しんにかかるリスクがあります。

予防接種を受けましょう

原則無料となります。※

風しんとは

感染者の咳やくしゃみ、会話などで飛び散るしぶき(飛沫)を吸い込んで感染します。
小児は発熱、発疹、首や耳の後ろのリンパ節が腫れて、数日で治ります。まれに、高熱
や脳炎になって入院することがあります。
成人は高熱・発疹の長期化や関節痛など重症化の可能性があります。

先天性風しん症候群とは

妊娠初期(20週以前)に風しんに感染すると、赤ちゃんが先天性心疾患・白内障・難聴
を特徴とする先天性風しん症候群をもって
生まれてくる可能性が高くなります。

※2019年4月以降、順次クーポン券が届く予定ですが、
自治体により事業の開始時期や対応が異なるため、
お住まいの市区町村にお問い合わせ下さい。



風しん 厚生労働省



大切なトラックを水没させないために —災害（水害）リスクをご確認ください—

国土交通省 ハザードマップポータルサイト



身のまわりの災害リスクを調べるのに
非常に便利なサイト。



<https://disaportal.gsi.go.jp/>

国土交通省 川の防災情報

リアルタイムの河川の水位・雨量等の防災情報。
河川監視用のCCTVカメラの静止画像にアクセス可能。

<https://www.river.go.jp/portal/>



気象庁 レーダーナウキャスト

気象レーダーによる5分毎の降水強度分布観測。
降水ナウキャストによる60分先までの降水強度分布予測。

<https://www.jma.go.jp/jp/radnowc/>



気象庁 高解像度降水ナウキャスト

250m解像度で30分先までの降水短時間予報。
土砂災害・浸水害・洪水の危険度分布等。

<https://www.jma.go.jp/jp/highresorad/index.html>



NHK ニュース・防災アプリ

気象情報、災害、避難情報、ライブカメラなどの情報を提供するアプリ。
※iPhone・Androidアプリで、端末にダウンロードしてご使用になります！

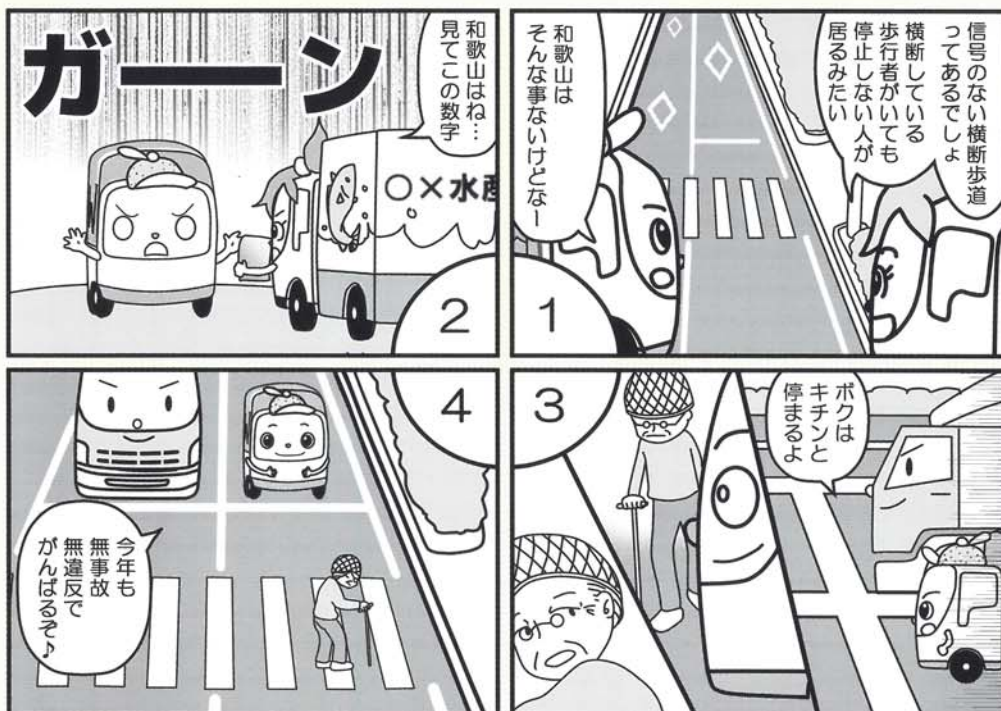
https://www3.nhk.or.jp/news/news_bousai_app/index.html



ご契約等のお問い合わせ先

近畿交通共済協同組合 和歌山事務所

TEL 073 (422) 2451
FAX 073 (422) 2461



わがトラン

vol.86

まんが/フミ

シートベルトをしめ、スピードを控えた安全運転を。点検・整備をしっかりとしましょう。

ISUZU

「運ぶ」を支え、環境と未来をひらく

Always Next to You

— いつもあなたの暮らしのそばに —



いすゞ自動車近畿株式会社

和歌山支店

〒649-6336 和歌山市小豆島40-2

TEL 073-488-6655

<http://www.isuzu-kinki.com>



和歌山県トラック協会テーマ曲

「さあいこう」

作詞/作曲/編曲 和歌山県トラック協会

(1番)

ハンドル握り アクセル踏んで 荷台に いーっぱい 夢を乗せて
晴れた時でも 嵐の日でも待ってる人が そこにいるから

朝日かがやく 海岸走り
星のきらめく あの丘越えて

さあいこう さあいこう
君の笑顔に 会いに
さあいこう さあいこう
未来へ

和歌山県 トラック協会

(2番)

今日も笑顔で 安全運転 優しい気持ちを いつも胸に
細い道でも 広い道でも マナーを守る 気配り上手

潮の香りの 岬をまわり
みかんの花咲く あの山のぼる

さあいこう さあいこう
幸せ 届けるため
さあいこう さあいこう
みんなと

和歌山県 トラック協会

(サビ繰り返し)

さあいこう さあいこう
君の笑顔に 会いに
さあいこう さあいこう
未来へ

和歌山県 トラック トラック トラック協会



「さあいこう」がカラオケ配信されています。(JOYSOUND、UGA、DAM)



発行：公益社団法人 和歌山県トラック協会

編集：公益社団法人 和歌山県トラック協会広報委員会

〒640-8404 和歌山市湊1414 TEL.073-422-6771

<http://www.watokyo.org>